

長時間の空の旅でも地上の快適性を TOTO「ウォシュレット^(※)」、空を飛ぶ ～2011年1月には累計出荷台数3000万台突破～

(※)「ウォシュレット」はTOTOの登録商標です

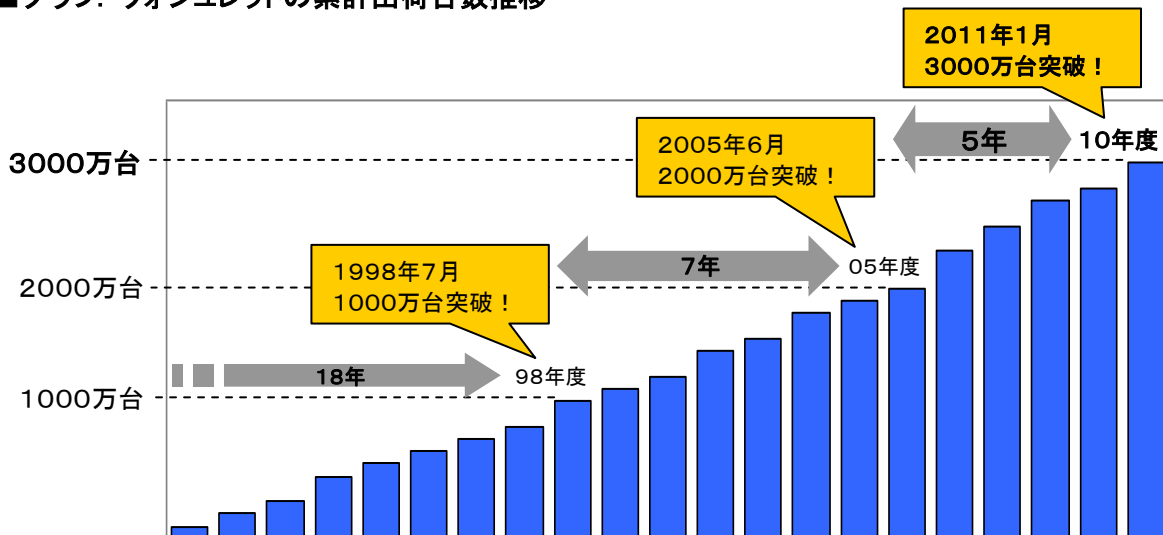
TOTOの「ウォシュレット」は温水洗浄便座の代表格として親しまれ、いまや住宅やオフィス、ホテル・病院などの様々な施設のみならず、一部の新幹線や豪華客船でも使用されています。さらに、国内大手航空会社が採用した「ボーイング787」等にもウォシュレットが搭載され、長時間の空の旅でも快適にお過ごしいただけます。

TOTOの「ウォシュレット」は1980年の発売から30年以上を迎え、累計出荷台数3000万台(シートタイプ・ウォシュレット一体形便器 国内・海外合計)を突破しました。(グラフ参照)




おしりを洗う習慣がなかった日本人の生活スタイルを変え、今では温水洗浄便座市場全体で家庭での普及率は7割を超えています。(2011年3月内閣府調べ)

TOTOは、日本のみならず、近年は中国、アメリカ、欧州、アジア・オセアニアなどの国でも普及に努めており、さらなるトイレの快適性を目指して今後も「ウォシュレット」を進化させていきます。

■グラフ. ウォシュレットの累計出荷台数推移



■ウォシュレットの歴史

年	主な機能・事柄	写真
1964	アメリカンビデ社(米)の福祉用具「ウォッシュエアシート」を輸入販売開始。	
1980	国産の「ウォシュレット」を販売。「Gシリーズ」「Sシリーズ」の2タイプで展開。(写真はGシリーズ) 1982年に戸川純さん出演の「おしりだって洗ってほしい」のCMを放映し、話題に。	
1987	ウォシュレット一体形便器「クイーン」登場。 便器とウォシュレットを一体化することで、すっきりしたデザインを実現。 ウォシュレット累計出荷台数100万台突破。	

1991	ホテルなどの、住宅以外の用途向けの「パブリック向けウォシュレット」発売	
1993	タンクレスのウォシュレット一体形便器「ネオレスト」登場。 大洗浄が8L、小洗浄が6Lの洗浄水量を実現。 (当時の一般便器は大・小ともに13Lでした)	
1995	旅行や出張など、外出先に携帯できるウォシュレット 「トラベルウォシュレット」発売	
1998	ウォシュレット累計出荷台数1000万台突破。	
1999	ウォシュレットアプリコット発売。 水玉で洗浄することにより、従来より少ない水量で しっかりした洗浄感の「ワンダーウェーブ洗浄」を搭載。	
2000	ウォシュレット一体形便器に「便ふたオート開閉」「オート便器洗浄」機能を搭載	
2002	ウォシュレット一体形便器「NEWネオレスト」発売。	
2005	レストルームを香りと音でさらに快適にする「オートフレグランス」「オートサウンド」 機能を搭載。 ウォシュレット累計出荷台数2000万台突破。	
2006	掃除がしにくく、汚れが見えにくかったウォシュレットの フチ裏をなくした「ふちなしウォシュレット」を搭載。 2002年に発売した「ふちなし形状」の便器に続き、 清掃性に配慮した機能。	
2008	便座と便ふた内部に断熱材を挟みこみ、暖めた便座の 熱を逃がしにくくする「ダブル保温便座」を搭載。 便ふたを閉じると、約30%の節電になります。	
2011	電解除菌水でノズルを洗う「電解除菌水ノズル洗浄」や、広い範囲をやさしくサッと洗える 「ワイドビデ洗浄」といった清潔性に配慮した機能を搭載。 ウォシュレット累計出荷台数3000万台突破。	